

松山市の水道事業について説明する 市公営企業局職員



水道 学生視点でPRを

松山大アイデア募る説明会

公営企業局

松山市公営企業局は水道のイメージアップにつながるアイデアを若い世代に考えてもらう取り組みをスタートさせた。今後、松山大（松山市文京町）の学生が上水道施設の見学やグループワークを実施し、年末ごろイメージアップ戦略を発表する予定。

会計やマーケティングを学ぶ学生の視点

を広報活動に生かそうと初めて実施。初回の29日は松山大で説明会があり、経営学部の3年生21人が参加した。

学生を前に、同局職員が水道料金体系などを説明。節水型都市づくりを推進するため、使えば使うほど料金単価が高くなる体系になっていることや、料金の4割以上を水道管や

浄水場の耐震化のために利用していることなど説明した。

水道水に関するアンケートもあり、学生は拳手で回答。細菌などの繁殖予防のため蛇口段階で塩素を一定量保持するよう義務づけられていることを知っていた人はいなかつた。

柴田明希子さん（21）は「水道をもっと身近に感じられるようなアイデアを出した」と意欲をみせていた。（堤美佳子）